

新潟公民館月報

発行人
新潟県公民館連絡協議会

新潟市寄居町
越佐自治会館内(電 2-7954番)
振替口座 新潟 4094

一月号 (48号)



1957

第一年の計画「住民綱要」を実施中、昨年七・八月度に及ぶ水害により甚大な財政に崩れ、約一千九百の赤字がござる。また第三年目には、新井會建楽、統合中学校等の問題が在り、昭和三年度一般会計は相当の節減が予想される。これに対して公民館は日賃十二月、市長の大賄断による八分館に専任職員が配置され、公民館運動の基礎的活動が期待される事になった。市民の生活文化教育の向上と、不平不満の無い明瞭な都市を建設するには、職員一同頭を悩してゐる問題だ。しかしそれは定だ。エネルギー、ユな体力だ。山陰の谷間にある小さな部落、連日大きな耕地とのい組んでいる部族、夜遅くまで時計を続ける中央町内、これらの人々に對し、時間も、場所も定めず、教育、どうもの効果を示すにはやはり足と、体力だ。そして内容と方法を研究しなければならない文はこれで虎の轍の様になつたが、今年こそはゴケツ協力後継園へ教じます。

(新井市公民館)

人間形成

性から種姓への転換についての考を忘れてはならないんだから、私が生れる前から死ぬまでを対人間が生れる前から死ぬまでを対(新潟市内農業者公館)

私は里山の勤労奉仕に行かたび

これが私の心である。

（新井市公民館）

仕事始め。農家では最早に起きた

地主は、この一年もお世話になりました。

そのために、私はこの年もお世話になりました。

私はこの年もお世話になりました。

私はこの年もお世話になりました。

私はこの年もお世話になりました。

私はこの年もお世話になりました。

○ 佐藤 藤市

これが私の心である。

（新井市公民館）

これが私の心である。

（新井市公民館）

○ 小柳 定夫 年中行事

（新井市公民館）

これが私の心である。

（新井市公民館）

私達の村の年中行事

○ 小柳 定夫

十二月三十日

年取日、大晦日、この日は男は神廟に去り、五、三、二、一のその他に至る。

して、男は頭を高く拳を打つて、「真新しい家には、カワラを上

で腰耕のもの」女は豪縫等をさ

いに、その上に土蔵もある、小姓はない

いね」と良い条件だけを並べ

て、それで、黙々と頷くやう

だ。そこで、この一言、言がしやすく

なり、それで、この一言、言がしやすく

に、仲人の音がする。

「真新しい家には、カワラを上

おまつてあるか、この通りの

よもかに幸福を演出して、古い

頭の祖父母や父兄を見返してやろ

う。人間の幸不幸などで自分自身

の心にあるんだからと、こんな事

が夢の本音の事ですか」と、どうな

うわけ、ようやく心の安らぎを感じ

た。それで、この一言、言がしやすく

なり、それで、この一言、言がしやすく

ひ終つたのだ。

「あんちゃん」

青年学生に役立つた。

結婚問題を取り上げて、

隣の山田君は、職を得て東京へ

お向うの美術やなんばが義理に

はなとかで、新聞を行つて、

俺は「あんちゃん」だ

俺は必ず致します。

（甲田）

青年人

級で、成績を取つてます

もとあれ年未であります。予算

額があると考へられます。

（甲田）

予算を告げます。

（甲田）

一年余の努力結実 専任職員八名配置

○ 新井市公民館

新井市公民館が、先年市長等各人に請下され、平成二年九月一日市制施行して以来、二ヶ年余の努力の賜物と関係者一同感謝無量である。その努力をどのようにしてみると

昭和二十九年十一月一日

田村合併法により、新井町、斐太丸の七ヶ村及び和田村南部四ヶ字が合併、「新井市」が誕生。各公

共は新井統合の名で「新井市」とし、他交分館、本館、分館八となり、予算は旧館持寄り

同年四月

新井市公民館を新設、本館一

月議会にて八名削減、

本館に一名着員のみ決定。このた

め本館は専任六名となる。

同月

市長査定において八名削減、

本館に一名着員のみ決定。このた

め本館は専任六名となる。

五月

運営審議会及分館長會議に於いて専任職員問題を強烈に推進

する事決する。運営委と社教委の合

議會は現在(5月20日現在)約五〇名である。この調査に寄せられた意見として、それは運営委員会委員に於いて、市民の自覚と明確な市の建設は如何よりも公民館活動が第一で、公民館運動を活発にするには専任職員の配置が必要であるとして教委より陳述。

同九月

県教育委員会教諭課主事を招き、

分館長、担当者、運営委員会委員

を対象に公民館の運動の基本的問題と新井市に於ける当面の問題に就いて研究。

同十二月

昭和三十二年度予算編成分館長会議に於いて、公民館の活動は専任職員が必要と結論に達し、教委に

ていただき、文部省より予算の合意を得たが、多忙な教務者との大打

敗なるに於て、公民館活動には専任職員が必要とする結果である。

昭和三十三年一月

河内八分館(斐太、矢代、水上)に入られ内山館長も実際的に市当局に申入れた。然し市当局は全市の実情の把握と各市問題に苦労、必要

と感じられた最も第二義的にはもう一度得なかつた。

同年四月

新井市公民館委員二十名、速

審議会委員二十名が委嘱され、両委員会に於いて、市民の自覚と明確な市の建設は如何よりも公民館活動が第一で、公民館運動を活発にするには専任職員の配置が必要であるとして教委より陳述。

五月

市議会で廃案通り可決

同月

本館に一名着員のみ決定。このた

め本館は専任六名となる。

六月

運営委、社教委、分館推進委員の合議會に於いて、小林幹夫助教授、

増井係長、甲田係長等を招き、更にこの推進に努力。

七月

運営委員会の統合による支所の人員縮少され、青年会の協力による組織化が図られる。

同月

新井市公民館運営委員会運営委員会は別として、再生のア

シテボスは別として、再開のア

シテボスは別として、再生のア

シテボスは別として、再生のア

シテボスは別として、再生のア

シテボスは別として、再生のア

シテボスは別として、再生のア

シテボスは別として、再生のア

十一月

議会に於いて、十二月一日付で

に至りて中止について、社会教育の

支所を田代所に縮少する旨決定。

これに對し、市政の運営は非常

に苦しい中であつて、社会教育の

員を配置、勤務を命じた。

これに對し、市政の運営は非常

に苦しい中であつて、社会教育の

員を配置、勤務を命じた。

これに對し、市政の運営は非常

に苦しい中であつて、社会教育の

員を配置、勤務を命じた。

これに對し、市政の運営は非常

に苦しい中であつて、社会教育の

員を配置、勤務を命じた。

はめ市当局の親心に一年間いたえ

す努力して来た二十名の運営委、教委、分館長はホントたわむ

き。又館長が十二分に活躍、明るい市政、住民の生活文化の向上に

大活動する方策を研究している。

職員のかたがたは次のとおりで

ある。

内山義大(館長)、杉野透次(主

任)、渡辺長(課長)、今井信丸(水原)などし水原は四月、次

代)、西郷和夫(水上)、塚田

洪教育長、横尾社会教育部長が申

入内山館長も実際的に市当局に申入れた。然し市当局は全市の実

情の把握と各市問題に苦労、必要

と感じられた最も第二義的にはもう

一度得なかつた。

同年四月

市長査定において八名削減、

本館に一名着員のみ決定。このた

め本館は専任六名となる。

同月

市長査定において八名削減、

本館に一名着員のみ決定。このた

め本館は専任六名となる。

五月

市議会で廃案通り可決

同月

本館に一名着員のみ決定。このた

め本館は専任六名となる。

六月

運営委、社教委、分館推進委員の合議會に於いて、小林幹夫助教授、

増井係長、甲田係長等を招き、更にこの推進に努力。

七月

運営委員会の統合による支所の人員縮少され、青年会の協力による組織化が図られる。

同月

新井市公民館委員二十名、速

審議会委員二十名が委嘱され、両

委員会に於いて、市民の自覚と明確な市の建設は如何よりも公民館活動

が第一で、公民館運動を活発にするには専任職員の配置が必要である。

同月

市長査定において八名削減、

本館に一名着員のみ決定。このた

め本館は専任六名となる。

八月

運営委員会の統合による支所の人員縮少され、青年会の協力による組織化が図られる。

同月

新井市公民館運営委員会運営委員会は別として、再生のア

シテボスは別として、再開のア

シテボスは別として、再生のア

